能率がアップする最新文具（第6回）

# 壁に書く、磁石で書く。進化する「ホワイトボード」

2016.12.22

会議での説明や行動予定の書き込み、しかも書いた内容が消せる「ホワイトボード」。恐らくほとんどのオフィスにあるでしょうが、場所を取ったり、消しカスが出たり、書き跡が残ってしまったりするなど、意外と難のある製品でもあります。

しかし最近では、こうした悩みを解決する、進化したホワイトボード関連製品が市場に送り出されています。いくつか紹介しましょう。

## 壁面がホワイトボードに早変わり「どこでもシート」

まず取り上げるのが、ホワイトボードならぬ“ホワイトフィルムシート”の「どこでもシート」（セーラー万年筆）です。

マーカーで書いて消せる白地のフィルムシートを、静電気を利用して壁面に張り付け、壁をホワイトボードとして活用できる点が特徴です。四隅に車輪がある移動式ホワイトボードのように場所を取らないため、書いている最中にボードが揺れたりしません。ガラスのような平滑面に張るのが理想的ですが、多少の曲面や凹凸のある壁面にも対応可能とのことです。

シートは幅60cm×長さ20m。80cmごとにミシン目が入っていて切り離せますが、任意の長さにカットして使うことも可能です。ロールを収めた箱を持ち運んで、出先のプレゼンに応用するという使い方もできます。

消しカスが散らない「水拭きで消せるマッキー」… 続きを読む